

副市長選任案「不同意」 議員報酬等特例条例を制定

令和3年第4回定例会を9月3日から24日までの22日間の日程で行い、市長より報告4件、議案15件、認定6件が上程され、決算特別委員会で審査する認定4件以外について、それぞれ不同意・承認・可決・認定とし、議員提出議案2件について、原案のとおり可決しました。

議会から関係機関への意見書

9月24日の本会議において、議員より提出され可決した意見書1件について、関係機関へ提出しています。

◆コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

主な議案の審議内容

本定例会に提案された議案等の審議結果については、一覧を次ページに掲載しています。

議会へ提出された請願・陳情

令和3年度第4回定例会では、陳情2件を審査しました。

審査結果については、次ページに掲載しています。

反対意見

本市の社会経済や市政に造詣が深い方が適任だと考える。

副市長の選任について

定例会初日の9月3日に、欠員中の副市長選任案件が提案され、起立採決の結果賛成2、反対15の賛成少数により不同意と決しました。

賛成意見

より良い鹿角市を創るため、2人の候補者が選挙戦を行い、関市長の方向性に対して多くの市民の方々から同意をいただき、関市長が選ばれた。

今回県職員の方を提案されたことに関しては、決して良好とは言えない県とのパイプの

重要な施策の実現や行財政改革などを行う際に県職員を副市長として迎えたことはあったが、今回は具体的な理由がなく、また、地方自治体が自らの判断と責任で施策に取り組まなければ存続すら危ぶまれる中、効果的に施策を推進するための事務的な統括責任者が必要である。さらに、人事に当たっては慎重に進めたいとのことであつたが、これに反し突然の提案であつた。

児玉悦朗議員

反対意見

強化や関係の立て直しをして、鹿角市に利益をもたらそうとする大きな決意の表れと考える。鹿角地域振興局長を以前務められていた方で、客観的に市の実情を把握しており、適任だと考える。

笹本真司議員

市長は、北東北の

経済圏の確立、産婦人科・医療体制の充実などを公約で掲げているが、国と県とのパイプは市長自らがつくってほしいとともに、市長が活動をしている間、市政を守り市長を補佐する鹿角市に詳しい人を選任してほしい。

成田哲男議員

鹿角市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定について

鹿角市議会議員の果たすべき職責及び市民の信頼の確保に鑑み、

議員が長期にわたり市議会の会議等を欠席した場合や逮捕等された場合において、議員報酬及び期末手当の減額や差し止めすることについて、新たに条例を制定するもので、9月24日の定例会最終日に議員発議により提案し、全会一致で可決しました。

決算特別委員会を設置し決算を審査

令和2年度一般会計歳入歳出決算等の認定案件4件について、決算特別委員会を設置し審査を行いました。

審査内容については次号でお知らせします。

（◎委員長、○副委員長）
◆決算特別委員（9名）

◎浅石昌敏 ○湯瀬弘充
倉岡 誠、児玉悦朗
館花一仁、安保誠一郎
丸岡孝文、湯瀬誠喜
笹本真司